



平成22年7月6日

各位

会社名 日本ファイルコン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 相澤 毅
 (コード番号 5942 東証第1部)
 問合せ先 常務取締役管理業務本部長
 相澤 寛行
 (電話 042-377-5711)

第2四半期累計期間業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年1月14日に発表いたしました、平成22年11月期第2四半期累計期間(平成21年12月1日～平成22年5月31日)の業績予想と実績に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、同じく平成22年1月14日に発表いたしました平成22年11月期通期(平成21年12月1日～平成22年11月30日)業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成22年11月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績の差異

(平成21年12月1日～平成22年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	11,300	150	150	0	円 銭 00 00
今回実績 (B)	11,912	△4	66	△65	△2 97
増減額 (B-A)	612	△154	△84	△65	—
増減率 (%)	5.4	—	△56.0	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年11月期第2四半期)	11,025	△648	△732	△541	△ 24 47

(金額の単位：百万円)

2. 平成22年11月期通期連結業績予想数値の修正

(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	23,400	600	500	300	円 銭 13 55
今回修正予想 (B)	24,300	450	500	300	13 55
増減額 (B-A)	900	△150	0	0	—
増減率 (%)	3.8	△25.0	0.0	0.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年11月期)	23,214	△ 1,210	△ 1,291	△ 2,475	△111 85

(金額の単位：百万円)

3. 平成22年11月期第2四半期累計期間個別業績予想と実績の差異

(平成21年12月1日～平成22年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	7,500	△100	△100	△100	円 銭 △ 4 52
今回実績 (B)	7,513	△373	△279	△268	△12 14
増減額 (B-A)	13	△273	△179	△168	—
増減率 (%)	0.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年11月期第2四半期)	7,510	△707	△677	△491	△22 19

(金額の単位：百万円)

4. 平成22年11月期通期個別業績予想数値の修正

(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	15,700	100	50	0	円 銭 00 00
今回修正予想 (B)	16,300	△50	0	0	00 00
増減額 (B-A)	600	△150	△50	0	—
増減率 (%)	3.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年11月期)	15,661	△ 1,318	△ 1,309	△ 2,458	△111 10

(金額の単位：百万円)

5. 業績予想と実績の差異および業績予想修正の理由

当第2四半期累計期間（平成21年12月1日～平成22年5月31日）の個別業績は、織網・関連機器分野で売上高が予想を上回った一方、棚卸資産評価損が発生したこと、マイクロ製品分野において、プラズマテレビ向け電磁波シールドメッシュの売上高が受注内容とスケジュールの変動により予想を下回り、操業度が低下したことを主な原因として、損益面において実績が予想を下回る結果となりました。

また、通期（平成21年12月1日～平成22年11月30日）の業績予想は、売上高の増加により損益面の改善がすすむものの、営業利益および個別業績における経常利益は前回発表数値を下回る見込みとなりました。

※前記の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得た判断に基づく将来の予想であり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる結果と成り得る場合がございますので、ご承知おきください。

以 上